

§ 3.8 合成関数の微分法

関数 $f(x)$ の値域が関数 $g(x)$ の定義域に含まれるとき、 $f(x)$ と $g(x)$ との合成関数 $g(f(x))$ ができました。この合成関数 $g(f(x))$ の微分法の公式をもう少し追及します。

関数 $f(x)$ と $g(x)$ とは微分可能であるとします。まず、変数 t を $t = f(x)$ とおきます。定理 3.5 より

$$\frac{d}{dx}g(t) = \frac{d}{dt}g(t) \cdot \frac{dt}{dx};$$

ここで、 $t = f(x)$ なので、

$$\frac{d}{dx}g(t) = \frac{d}{dx}g(f(x)), \quad \frac{d}{dt}g(t) = g'(t) = g'(f(x)), \quad \frac{dy}{dx} = \frac{d}{dx}f(x),$$

従って

$$\frac{d}{dx}g(f(x)) = g'(f(x)) \frac{d}{dx}f(x).$$

定理 3.8 微分可能な関数 $f(x)$ と $g(x)$ について、関数 $f(x)$ の値域が関数 $g(x)$ の定義域に含まれるとき、合成関数 $g(f(x))$ の導関数は

$$\frac{d}{dx}g(f(x)) = g'(f(x)) \frac{d}{dx}f(x).$$

定理 3.8 の公式において $f(x)$ を \square で置き換えた公式もどきを示します：

$$\frac{d}{dx}g(\square) = g'(\square) \frac{d}{dx}(\square).$$

つまり、 $g(\square)$ を微分するには、外側の関数 g だけを微分して g の中身の \square はそのままにした式 $g'(\square)$ に g の中身 \square を微分した式 $\frac{d}{dx}(\square)$ を掛けます。

例解 変数 x の関数 $\sin \frac{5x+4}{3}$ を微分します。3.5 節で述べた方法では、 $\frac{5x+4}{3}$ を新しい変数 t とかに置き換えて微分しました。できればこのように置き換えることなく微分して下さい。定理 3.8 の公式もどき $\frac{d}{dx}g(\square) = g'(\square) \frac{d}{dx}(\square)$ において $g(x) = \sin x$ とおくと、 $g'(x) = \frac{d}{dx} \sin x = \cos x$ なので、

$$\frac{d}{dx} \sin(\square) = \cos(\square) \cdot \frac{d}{dx}(\square).$$

この等式において \square に $\frac{5x+4}{3}$ を代入します。

$$\frac{d}{dx} \sin \frac{5x+4}{3} = \cos \frac{5x+4}{3} \cdot \frac{d}{dx} \frac{5x+4}{3} = \cos \frac{5x+4}{3} \cdot \frac{5}{3} = \frac{5}{3} \cos \frac{5x+4}{3}. \quad \text{終}$$

例題 変数 x の関数 $\cos \frac{\pi(3x-2)}{5}$ を微分する。

【解説】 定理 3.8 の公式もどき $\frac{d}{dx}g(\square) = g'(\square) \frac{d}{dx}(\square)$ において $g(x) = \cos x$ とおくと、 $g'(x) = \frac{d}{dx} \cos x = -\sin x$ なので、

$$\frac{d}{dx} \cos(\square) = -\sin(\square) \cdot \frac{d}{dx}(\square).$$

この等式において \square に $\frac{\pi(3x-2)}{5}$ を代入する。

$$\begin{aligned} \frac{d}{dx} \sin \frac{\pi(3x-2)}{5} &= \cos \frac{\pi(3x-2)}{5} \cdot \frac{d}{dx} \frac{\pi(3x-2)}{5} = -\sin \frac{\pi(3x-2)}{5} \cdot \frac{3\pi}{5} \\ &= -\frac{3\pi}{5} \sin \frac{\pi(3x-2)}{5}. \quad \text{終} \end{aligned}$$

問題 3.8.1 変数 x の関数 $\tan \frac{\pi(5x-4)}{7}$ を微分しなさい。

例題 変数 x の関数 $\ln|e^x-3|$ を微分する。

【解説】 定理 3.8 の公式もどき $\frac{d}{dx}g(\square) = g'(\square) \frac{d}{dx}(\square)$ において $g(x) = \ln|x|$ とおくと、 $g'(x) = \frac{d}{dx} \ln|x| = \frac{1}{x}$ なので、

$$\frac{d}{dx} \ln|\square| = \frac{1}{\square} \frac{d}{dx}(\square).$$

この等式において \square に e^x-3 を代入する。

$$\frac{d}{dx} \ln|e^x-3| = \frac{1}{e^x-3} \frac{d}{dx}(e^x-3) = \frac{1}{e^x-3} e^x = \frac{e^x}{e^x-3}. \quad \text{終}$$

問題 3.8.2 変数 x の関数 $\ln|3e^x-5|$ を微分しなさい。

例題 変数 x の関数 $(\tan^{-1}x)^3$ を微分する。

【解説】 $\frac{d}{dx}x^3 = 3x^2$ なので $\frac{d}{dx}(\square)^3 = 3(\square)^2 \frac{d}{dx}(\square)$ 。この等式において \square に $\tan^{-1}x$ を代入する。

$$\frac{d}{dx}(\tan^{-1}x)^3 = 3(\tan^{-1}x)^2 \frac{d}{dx} \tan^{-1}x = 3(\sin^{-1}x)^2 \frac{1}{1+x^2} = \frac{3(\tan^{-1}x)^2}{1+x^2}. \quad \text{終}$$

問題 3.8.3 変数 x の関数 $(\sin^{-1}x)^4$ を微分しなさい。

例題 変数 x の関数 $\sqrt{\frac{6}{5x+7}}$ を微分する。

【解説】 $\sqrt{\frac{6}{5x+7}} = \frac{\sqrt{6}}{\sqrt{5x+7}} = \sqrt{6}(5x+7)^{-\frac{1}{2}}$ 。 $\frac{d}{dx}x^{\frac{1}{2}} = -\frac{1}{2}x^{-\frac{3}{2}}$ なので $\frac{d}{dx}(\square)^{-\frac{1}{2}} = -\frac{1}{2}(\square)^{-\frac{3}{2}} \frac{d}{dx}(\square)$ 。この等式において \square に $5x+7$ を代入する。

$$\begin{aligned} \frac{d}{dx} \sqrt{\frac{6}{5x+7}} &= \frac{d}{dx} \left\{ \sqrt{6}(5x+7)^{-\frac{1}{2}} \right\} = \sqrt{6} \frac{d}{dx} (5x+7)^{-\frac{1}{2}} \\ &= \sqrt{6} \left(-\frac{1}{2} \right) (5x+7)^{-\frac{3}{2}} \frac{d}{dx} (5x+7) = -\frac{\sqrt{6}}{2\sqrt{(5x+7)^3}} \cdot 5 \\ &= -5\sqrt{\frac{3}{2(5x+7)^3}}. \quad \text{終} \end{aligned}$$

問題 3.8.4 変数 x の関数 $\sqrt{\frac{6}{x^2+5}}$ を微分しなさい。

例題 変数 t の関数 $e^{\sin t}$ を微分する。

【解説】 微分公式 $\frac{d}{dx}e^x = e^x$ より $\frac{d}{dt}e^{\square} = e^{\square} \frac{d}{dt}(\square)$ 。この等式において \square に $\sin t$ を代入する。

$$\frac{d}{dt}e^{\sin t} = e^{\sin t} \frac{d}{dt} \sin t = e^{\sin t} \cos t. \quad \text{終}$$

問題 3.8.5 変数 t の関数 $e^{\tan t}$ を微分しなさい。

例題 変数 x の関数 $\sin^{-1}x^3$ を微分する。

【解説】 $\frac{d}{dx} \sin^{-1}x = \frac{1}{\sqrt{1-x^2}}$ より $\frac{d}{dx} \sin^{-1}(\square) = \frac{1}{\sqrt{1-(\square)^2}} \frac{d}{dx}(\square)$ 。この等式において \square に x^3 を代入する。

$$\frac{d}{dx} \sin^{-1}x^3 = \frac{1}{\sqrt{1-(x^3)^2}} \cdot \frac{d}{dx} x^3 = \frac{1}{\sqrt{1-x^6}} \cdot 3x^2 = \frac{3x^2}{\sqrt{1-x^6}}. \quad \text{終}$$

問題 3.8.6 変数 x の関数 $\tan^{-1}\sqrt{x}$ を微分しなさい。

例題 実数全体を定義域とする関数 f を $f(x) = x^3 \sin(4x+3)$ と定める。 f の導関数 f' を求める。

$$\frac{d}{dx} \sin(4x+3) = \cos(4x+3) \cdot \frac{d}{dx}(4x+3) = \cos(4x+3) \cdot 4 = 4 \cos(4x+3).$$

よって、

$$\begin{aligned} f'(x) &= \frac{d}{dx} f(x) = \frac{d}{dx} \{ x^3 \sin(4x+3) \} = \frac{d}{dx} x^3 \cdot \sin(4x+3) + x^3 \cdot \frac{d}{dx} \sin(4x+3) \\ &= 3x^2 \cdot \sin(4x+3) + x^3 \cdot 4 \cos(4x+3) \\ &= 3x^2 \sin(4x+3) + 4x^3 \cos(4x+3). \quad \text{終} \end{aligned}$$

問題 3.8.7 実数全体を定義域とする関数 g を $g(x) = e^x \cos(3x+1)$ と定めます。 g の導関数 g' を求めなさい。

例題 変数 x の関数 $y = \frac{e^{2x-3}}{x^3}$ の導関数 $\frac{dy}{dx}$ を求める。

$$\frac{d}{dx} e^{2x-3} = e^{2x-3} \frac{d}{dx}(2x-3) = e^{2x-3} \cdot 2 = 2e^{2x-3}.$$

よって、

$$\begin{aligned} \frac{dy}{dx} &= \frac{d}{dx} \frac{e^{2x-3}}{x^3} = \frac{\frac{d}{dx} e^{2x-3} \cdot x^3 - e^{2x-3} \cdot \frac{d}{dx} x^3}{(x^3)^2} \\ &= \frac{2e^{2x-3} \cdot x^3 - e^{2x-3} \cdot 3x^2}{x^6} = \frac{2xe^{2x-3} - 3e^{2x-3}}{x^4} \\ &= \frac{e^{2x-3}(2x-3)}{x^4}. \quad \text{終} \end{aligned}$$

問題 3.8.8 変数 t の関数 $x = \frac{\sin t}{e^{3t-5}}$ の導関数 $\frac{dx}{dt}$ を求めなさい。